

障害者の日常的な スポーツ環境構築に向けて

障害者スポーツ施設を新設しない、
専門人材を新たに採用しない。
でも、障害者のスポーツ機会の
受け皿と指導人材を増やす

挑戦

2025
12.9 火

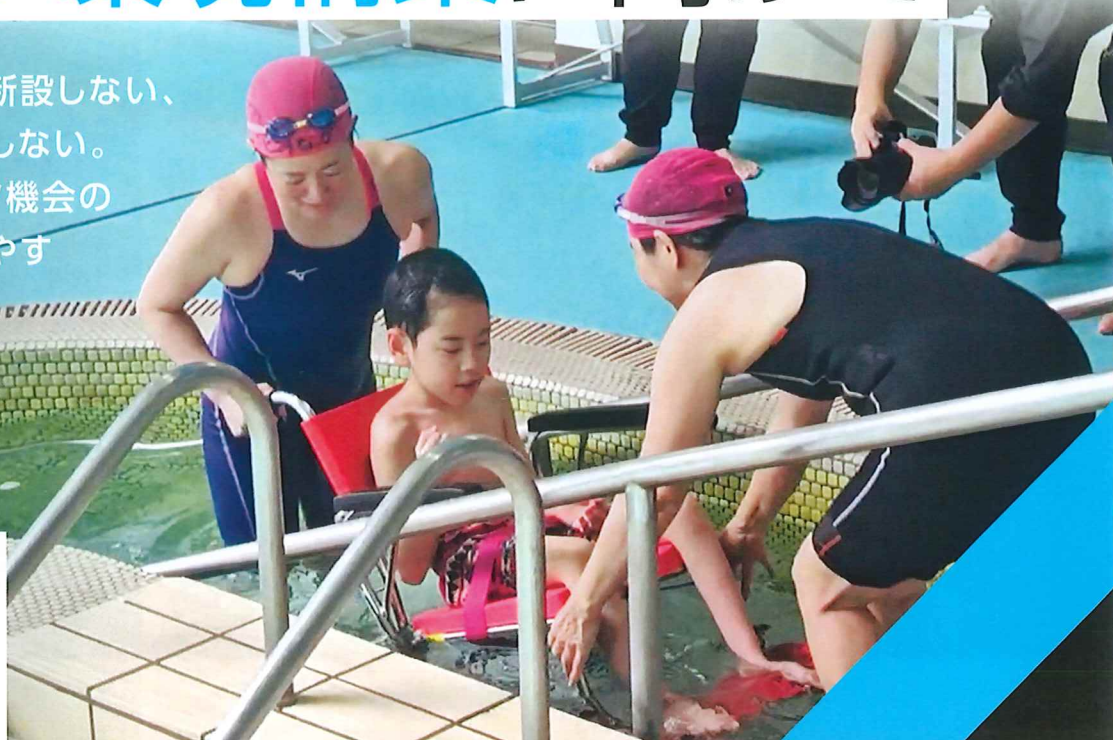
14:00-16:00

日本財団ビル

東京都港区赤坂1丁目2番2号

オンライン

無料セミナー



笹川スポーツ財団は「障害者スポーツ推進には、地域の障害者専用スポーツ施設が拠点（ハブ施設）となり、近隣の公共スポーツ施設（サテライト施設）や地域のその他社会資源とのネットワーク化を進め、スポーツ参加の受け皿を増やす」と提言しました。

セミナーでは、東京都障害者スポーツ協会、江戸川区と2024年度に実施した、重度障害児が身近な公共スポーツ施設などで運動・スポーツが可能な「江戸川区モデルプログラム」の検証結果をご報告します。また、最新の「障害者専用・優先スポーツ施設に関する研究2024」についてもご説明します。

第1部

障害者専用・優先スポーツ施設に関する研究2024 研究結果報告

- 障害者専用・優先スポーツ施設の廃止、機能移転、新設が進む
- 避難所設置の現状と機能追加を検討 など

発表者 小淵 和也 笹川スポーツ財団 政策ディレクター

第2部

江戸川区モデルプログラムの パネルディスカッション

- プール・スタジオプログラムにおける重度障害者の受入可能性を検証
- ハブ施設からサテライト施設への地域移行のモデルを確立
- 専門職がいないサテライト施設における人材ネットワークの活用方法を確認
- 施設ネットワーク化の全国展開に向けた施設の役割を明確化 など

パネリスト ※五十音順

萩原 正明氏 江戸川区バラスポーツ係（現スポーツ係）

原 満梨絵氏 江戸川区総合体育館／ミズノスポーツサービス株式会社

矢壁 彩氏 東京都障害者総合スポーツセンター

モデレーター 小淵 和也



どなたでも参加可能！
当日参加できない場合は、
アーカイブ配信を行いますので、
お気軽にお申し込みください。

参加申し込みはこちら

申込締め切り
12月8日(月)12:00

笹川スポーツ財団



重度障害児の身近にスポーツを 「江戸川区モデルプログラム」



2024年6月の記者発表会の様子

プログラム

2024年6月から年度内、全8回開催

(対象者:東京都立鹿本学園の在校生と保護者)

▼ハブ施設:東京都障害者総合スポーツセンター(以下、総合SC)

▼サテライト施設:江戸川区総合体育館

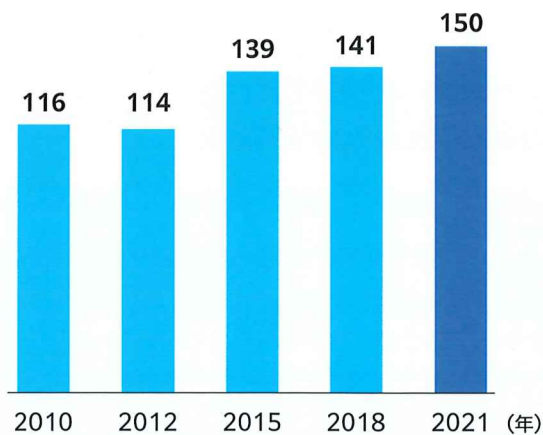
▼地域のその他社会資源:

江戸川区内の区民館やコミュニティセンターなど

目的

- 総合SCの専門職員と江戸川区総合体育館のスタッフが一緒に指導し、最終的に江戸川区総合体育館のスタッフが重度障害児・者を指導できるようにする。
- 理学療法士が補助する区民館、コミュニティセンターの既存プログラムに参加し、身近な地域でのスポーツ機会の選択肢を増やす。

障害者専用・優先スポーツ施設に関する研究
(2021年)



財団概要

名称 公益財団法人 笹川スポーツ財団
所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
日本財団ビル3階
TEL:03-6229-5300 FAX:03-6229-5340
設立年月 1991年(平成3年)3月
(公益財団法人への移行 2011年4月)
目的 スポーツ・フォー・エブリワンの推進
行政庁 内閣府

加盟機関
国際スポーツ・フォー・オール協議会(TAFISA)
日本スポーツ・フォー・オール協議会(TAFISA-JAPAN)
国際スポーツ・フォー・オール連盟(FISpT)
関連組織
特定非営利活動法人 日本ボランティアネットワーク(JSVN)
特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会(JWGA)